

作成日 : 2014年10月22日

改訂日 : 2022年1月28日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	:	キープジョン K-100
製品コード	:	119010
会社名	:	株式会社 トクヤマエムテック
住所	:	東京都中央区日本橋本町 4-8-16 KDX 新日本橋駅前ビル 3F
担当部門	:	開発技術グループ
電話番号	:	03-6265-1075
FAX 番号	:	03-6265-1073
推奨用途及び使用上の制限	:	モルタル用混和材, 吸水調整材
整理番号	:	EM0001

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性	:	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	分類できない
眼に対する重篤な損傷または眼刺激性	:	分類できない
感作性(呼吸器・皮膚)	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	:	区分 2
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	:	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	:	警告
危険有害性	:	臓器(心臓, 呼吸器系, 腎臓, 中枢神経系)障害のおそれ 長期にわたる, または反復暴露による臓器(呼吸器系, 中枢神経系)障害のおそれ

注意書き

【安全対策】	:	使用前に取扱説明書(安全データシートなど)を入手すること。 すべての安全対策を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉塵, 煙, ガス, ミスト, 蒸気, スプレーを吸引しないこと。 取り扱い後はよく手, 顔を洗うこと。 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
【応急措置】	:	4. 応急措置を参照のこと。 暴露または暴露の懸念がある場合, 医師に連絡すること。 気分が悪いときは, 医師の診断または手当を受けること。

- 【保管】 : 部外者が触れないよう施錠して保管すること。
- 【廃棄】 : 内容及び容器を国、都道府県または市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成・成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学名または一般名 : エチレン-酢酸ビニル樹脂エマルジョン
- 成分(含有物質) : エチレン-酢酸ビニル樹脂, エチレングリコール, 酢酸ビニル, 水
- 含有物質に関する詳細
- CAS No. : エチレン-酢酸ビニル樹脂; 非公開, エチレングリコール; 107-21-1, 酢酸ビニル; 108-05-4, 水; 7732-18-5
- 官報公示整理番号 : エチレン-酢酸ビニル樹脂; 非公開(既存化学物質), (化審法・安衛法) エチレングリコール; 2-230, 酢酸ビニル; 2-728
- 危険有害成分 : 政令番号 第 75 号(エチレングリコール) 化学式; C₂H₆O₂, 化審法番号; 2-230, CAS 番号; 107-21-1, 含有量; 2%
- (労働安全衛生法, 第 57 条の 2 項 施行令第 18 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき物質) 政令番号 第 180 号(酢酸ビニル) 化学式; C₄H₆O₂, 化審法番号; 2-728, CAS 番号; 108-05-4, 含有量; 0.3%

4. 応急措置

- 吸引した場合 : 速やかに空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ, 皮膚を流水で洗う。
- 眼に入った場合 : 速やかに洗浄な水で最低 15 分間洗眼した後, 医療処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄した後, 医療処置を受ける。
- 応急処置をする者の保護 : 汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないよう手袋等の適切な保護具を使用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤, 水溶性液体用泡消火薬剤, 二酸化炭素, 砂, 霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 火災時特有の危険有害性 : 火災によって刺激性, 有毒ガスが発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 初期の火災には, 粉末, 二酸化炭素などを用いる。大規模火災の際には, 水溶性液体用消火薬剤などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合, 周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は, すみやかに安全な場所に移す。消火のための放水等により, 環境に影響を及ぼす物質が放出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では, 適切な保護具(「手袋, 眼鏡, 時計」)を薬用する

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合, 処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出し

(保護具及び緊急時措置)

た場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立入を禁止する。作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。多量の場合、人を安全に待避させる。漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項

: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

: 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

: 河川等に流入した場合は、必要に応じて消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱者の暴露防止

: 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用する。

局所排気・全体排気

: 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。

安全取扱い注意事項

: 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。スプレーミストや蒸気が発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用する。取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。

衛生対策

: 取扱い後は、石鹸で手を洗う。

保管

安全な保管条件

: 凍結、直射日光を避け、換気の良い屋内に保管し、保管時の温度が 5℃以下及び 40℃以上にならないようにする。使用後は、皮張り、腐敗防止のために、密栓(または密閉)して速やかに使用する。

推奨する安全な容器包装材料

: 消防法及び国連危険物輸送に関する勧告で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度(労働安全衛生法・作業環境評価基準)

: 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会

: 設定されていない

ACGIH

: エチレングリコール

TWA

—

STEL C

100 mg/m³ H

酢酸ビニル

TWA

10ppm

STEL 15ppm

設備対策 : 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。蒸気または煙やミストが発生する場合には、局所換気装置を設置する。取扱い場所の近くに眼の洗浄や身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具 : 防塵マスク, 簡易防塵マスク, 防毒マスク(有機ガス用等)
 手の保護具 : 保護手袋
 眼の保護具 : 保護メガネ(普通メガネ型, 側板付き普通メガネ型, ゴーグル型)
 皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴, 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

形状の補足情報 : 合成樹脂エマルション
 色 : 乳白色
 臭い : 微臭
 pH : 4~6
 不揮発分 : 45.0~47.0%
 融点・凝固点 : 0°C(水)
 沸点 : 100°C(水)
 引火点 : >100°C
 密度 : 1.0~1.1g/cm³(20°C)
 溶解性 : 水で希釈可能
 粘度 : 1,200~2,000mPa·s(23°C, BH型 10rpm)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 密閉状態で冷暗所では安定
 危険有害反応可能性 : 情報なし
 避けるべき条件 : 5°C以下の低温及び 40°C以上の高温
 混触危険物質 : 情報なし
 危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

製品の有害性情報
 混合物の有害性情報 : 全ての項目について情報なし

エチレン-酢酸ビニル樹脂の有害性情報

有害性情報 : 全ての項目について情報なし

エチレングリコールの有害性情報

急性毒性(経口) : ラット LD50 4000~10200 mg/kg(CICAD)
 急性毒性(経皮) : ラット LD50 10600 mg/kg(CICAD)
 急性毒性(吸入:蒸気) : ラット LC 200mg/m³/4hr(初期リスク評価書)
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : ウサギを用いた皮膚刺激性試験で軽度の刺激性であった(CICAD)。
 眼に対する重篤な損傷または眼刺激性 : ウサギを用いた眼刺激性試験でごく軽度の刺激性であった(CICAD)。
 皮膚感作性 : モルモットをもった皮膚感作性試験で陰性であった

	(SIDS)。
呼吸器感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: ラットに経口投与した in vivo 優性致死試験で陰性であった(初期リスク評価書)。 マウスに腹腔内投与した in vivo 染色体異常試験及び小核試験で陰性であった(初期リスク評価書)。
発がん性	: ACGIHの発がん性評価; A4(ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質)
生殖毒性	: 14週間飲水投与したマウスを用いた連続交配試験で、1%群で生存胎児数の減少、頭蓋異常等がみられた。NOAELは0.5%(840mg/kg/日)(初期リスク評価書)。 妊娠6～15日目のマウスに強制経口投与した試験で、500mg/kg/日以上群で児に過剰肋骨等がみられた。NOAELは150mg/kg/日(初期リスク評価書)。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: ヒトで意識障害、痙攣、昏迷状態、頻脈、血圧上昇、腎障害、肺の軽度なうっ血等がみられた(初期リスク評価書、環境リスク評価)。 ボランティアによる55ppmの吸入暴露試験で、吸入開始1.5分後から喉及び上気道の痛みがあり、79ppm以上では、痛みが非常に激しく1分以上耐えられなかった(初期リスク評価書)。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 常に蒸気が発生している環境で約2年間作業していた労働者で、意識喪失、リンパ球の増加、眼球振とうがみられた(初期リスク評価書)。 ボランティアに30日間吸入させた試験で144mg/m ³ 以上の暴露で上気道に刺激等がみられた。NOAELは49mg/m ³ (初期リスク評価書)。
吸引性呼吸器有害性	: データなし
酢酸ビニルの有害性情報	
急性毒性(経口)	: ラット LD50 1600～3480mg/kg(有害性評価書)
急性毒性(経皮)	: ウサギ LD50 2335～7470mg/kg(有害性評価書)
急性毒性(吸入:蒸気)	: ラット LC50 11.4mg/L/4hr(環境リスク評価), 3200～4490ppm/4hr(有害性評価書)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: ウサギを用いた皮膚刺激性試験で軽度の紅斑、浮腫等がみられた(DFGMAK)。 皮膚への連続的な接触で重度の刺激性または水疱形成がみられた(ECETOC)。
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	: 本物質に直接接触したヒトで角膜熱傷がみられたが48時間以内に回復した(有害性評価書)。 ウサギを用いた眼刺激性試験で、結膜の重度の浮腫等がみられたが8日後に消失した(DFGMAK)。
皮膚感作性	: 皮膚感作性;5年間にわたる21人の労働者の医療記録から、本物質はアレルギー性皮膚炎の重要な誘導物質でないことが示唆された(ECETOC)。 モルモットを用いた皮膚感作性試験で陽性の反応がえられているが、擬陽性反応の可能性を排除できないので評価できない(DFGMAK)。

呼吸器感作性	:	情報なし
生殖細胞変異原性	:	マウスに腹腔内投与し骨髄細胞を観察した in vivo 小核試験や姉妹染色分体交換試験で陽性であった(有害性評価書)。 ラットに腹腔内投与して骨髄細胞を観察した染色体異常試験で陽性であった(DFGMAK)。
発がん性	:	IARC の発がん性分類;グループ B2(ヒトに対して発がん性がある可能性がある物質) ACGIH の発がん性分類;A3(ヒトへの関連性は不明であるが、動物実験で発がん性が確認された物質)
生殖毒性	:	ラットを用いた飲水投与による2世代生殖毒性試験で雄の交尾率の低下に伴う妊娠率のわずかな低下がみられた。NOAEL は 1000ppm(有害性評価書)。 妊娠6~15日のラットに吸入暴露させた試験で、母動物に肺のうっ血がみられる用量で、児に頭腎長短縮、骨化遅延等がみられた。NOAEL は 200ppm(有害性評価書)。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	ヒトのボランティアによる吸入暴露試験で、呼吸器に対する刺激性が認められた(有害性評価書)。 ウサギを用いた吸入暴露試験において中枢神経系の抑制がみられた(初期リスク評価書)。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	ラットを用いた2年間の吸入暴露試験で、200ppm で鼻腔上皮の扁平上皮化生と萎縮、基底細胞の過形成がみられた(有害性評価書)。 マウスを用いた13週間の吸入暴露試験で、200ppm で巣状肺炎と鼻炎がみられた(有害性評価書)。
吸引性呼吸器有害性	:	・情報なし

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

混合物の環境影響情報	:	全ての項目について情報なし
他の有害影響	:	河川等に流入した場合、エマルジョン中の樹脂の粘着性の影響で呼吸困難が生じ、魚類が死亡する可能性がある。

エチレン-酢酸ビニル樹脂の環境影響情報

環境影響情報	:	全ての項目について情報なし
--------	---	---------------

エチレングリコールの環境影響情報

生態毒性	:	魚類(ヒメダカ) LC50(96hr)>100mg/L, (ニジマス) NOEC(12day) 14692mg/L (初期リスク評価書) 甲殻類(オオミジンコ) LC50(48hr)14828mg/L, NOEC(21day) 100mg/L (初期リスク評価書) 藻類(セテナストラム) ErC50(72hr)>1000 mg/L, NOEC(72hr) 1000mg/L (初期リスク評価書)
残留性/分解性	:	化審法に基づく2週間の生分解性試験で、分解性の良好な物質と判定された(初期リスク評価書)。

- 生体蓄積性 : オクタノール/水分配係数 $\log Kow = -1.36$ (測定値) (初期リスク評価書)
- 土壌中の移動性 : 土壌吸着係数 $Koc = 1$ (計算値) (初期リスク評価書)
- オゾン層への有害性 : 情報なし

酢酸ビニルの環境影響情報

- 生態毒性 : 魚類(ヒメダカ) $LC50(96hr) 2.39mg/L$ (初期リスク評価書)
 甲殻類(オオミジンコ) $EC50(48hr) 9.22mg/L$, $NOEC(21day) 0.317mg/L$ (初期リスク評価書)
 藻類(セレナストラム) $ErC50(72hr) 8.9mg/L$, $NOEC(72hr) 0.2mg/L$ (生態影響試験結果)
- 残留性/分解性 : 化審法に基づく 2 週間の生分解性試験で良分解性と判定された(既存点検データ)。
- 生体蓄積性 : オクタノール/水分配係数; $\log Pow = 0.73$ (測定値) (有害性評価書)
 $BCF = 3.2$ (計算値) (有害性評価書)
- 土壌中の移動性 : 土壌吸着係数; $Koc = 6$ (推定値) (有害性評価書)
- オゾン層への有害性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
- 汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

輸送に関する規制及び分類に関する情報

- 陸上 : 消防法, 労働安全衛生法, 毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められるところに従うこと。
- 海上 : 船舶安全法に定められるところに従うこと。
- 航空 : 航空法に定められるところに従うこと。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 粉塵のたたない方法で輸送する。
 破袋, 損傷, 容器・包装からの漏出, 転倒, 落下などの荷崩れ防止を確実にを行う。
 湿気, 水濡れに注意する。

15. 適用法令

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
 労働安全衛生法 : ①危険物・引火性のもの(施行令別表第 1 第 4 号: 酢酸ビニル)

大気汚染防止法	: ②第57条の2項 施行令第18条の2別表第9 名称等を通知する必要がある物質(No.75 エチレングリコール, No.180 酢酸ビニル) ①有害大気汚染物質(中央環境審議会第9 次答申) 酢酸ビニル ②揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達) エチレングリコール・酢酸ビニル
海洋汚染防止法	: ①危険物(施行令別表第1の4) 酢酸ビニル ②有害液体物質(Y 類物質)(施行令別表第1) エチレングリコール, 酢酸ビニル
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 第一種, 第二種指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	: 該当しない。
特定化学物質等障害予防規則	: 該当しない。

16. その他の情報

参考文献 ¹⁾ : IARC(International Agency for Research on Cancer) vol.68

- ・ 本データシートは、日本工業規格 Z7253:2012「GHS に基づいた化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取り扱いを確保するための“参考資料”として、現時点で弊社の有する情報を取り扱い事業者にご提供するものです。
- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料, 情報, データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・ 本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性, 有害性の可能性がありますので、取り扱い事業者は、これを参考として、個々の取り扱い, 用途, 用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

記載内容の問い合わせ先

株式会社 トクヤマエムテック 開発技術グループ

電話番号 : 03-6265-1075

FAX 番号 : 03-6265-1073

住所 : 東京都中央区日本橋本町 4-8-16 KDX 新日本橋駅前ビル 3F (〒103-0023)